

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.14 2025.2

イベント報告

東三河ふるさと公園オリエンテーリング大会開催 2月23日(日)

聴覚障害の方3名参加

今年最後の寒波かといわれる中、あいちシニアオリエンテーリング愛好会恒例の東三河での3回目の大会を開催しました。1昨年6月の豪雨で、園路の通行止めが多く発生し、昨年は新城総合公園での開催となりましたが、一部通行ができないものの80%回復し、開催の運びとなりました。

コースは公園管理者の安全に対する配慮を共有し、素早い行動と脚力・体力を競うものとなりました。

また、同年齢層の男女は同じコースとし、男女の差別に配慮するとともに結果の比較対象を広げました。



MA・WAのコースの一部

成績比較(1位)

4.1 km ↑270m	MA	宮本 樹	29:06
	WA	皆川美紀子	36:36
3.1 km ↑190m	MM	富田吉郎	30:18
	WM	三好暢子	33:29
	MJ	西川稜真	25:55
2.1 km ↑110m	MN	立松和幸	35:08
	WN	源後彩乃	27:40
	Group	庄司朋宏	33:58

また、デフリンピックを目指す方も含め、3名の聴覚に障害のある方が参加されました。受付ではコミュニケーションが十分できなく、申し訳ないと思っています。技量向上につながれば幸いです。

地元への普及努力

愛知県下で普及度の低い東三河地域への普及を活動の重点の一つとして大会を実施してきた。東三河地域に直接のアプローチはできなかったが、いくつかの手法で挑戦した。

一つは、愛知県の「するスポーツ」Web サイト「Aispo Do!」。

これに大会参加者募集を掲載して県民へのPRを図った。

また、来年開催されるアジア・アジアパラ競技会

の PR ロゴ使用の許可をいただき、大会要項に掲載し、アピール力向上を図った。



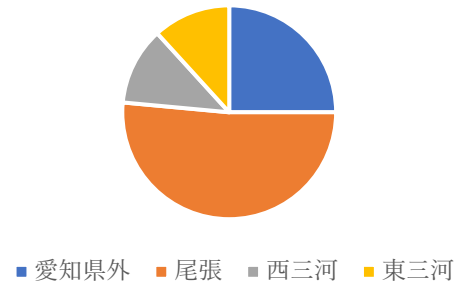
岡崎市民に対しては、岡崎市民活動団体に登録し、オリエンテーリングを通じて、市民の健康づくりに寄与していくことにした。そして市民への広報 Web サイトを活用して、大会への参加を呼び掛けた。また、岡崎市内にある 4 か所の地域交流センターに大会要項を置かさせていただいた。



また、中日新聞の関連紙として岡崎ホームニュースという、月 2 回発行され、岡崎市と幸田町の日新聞購読者に配布される情報紙があり、それに募集記事を掲載していただいた。

そういう、様々な活動の結果、地域ごとの参加者数はグラフのようになった。愛知県内の方が 75% を超え、初めて名前を拝見するかたも多く、ある程度の PR 効果はあったものと思われる。

参加者の居住地



いわゆる、オリエンテーリングの Web サイトは主にオリエンテーリング愛好者は頻繁にみるものの、一般の方には存在すら知らないし、見る気も全く起こらないものです。

その点で新聞や市の広報誌は他の記事を見ながら目に留まるものであり、一番「オリエンテーリング」の名を知らせるものである。また、県や市のイベント Web サイトは、開くという一手間にかかるものの、なにか面白いものはないかなという気持ちのついでに開いてみるかもしれないという期待がある。



永井昇さんの大会のちょっぴり写真集が以下 URL に掲載されていますので、見てください。

<https://www.katch.ne.jp/~n-nagai/olsyasinsyu.files/higaisimikawa20250223.htm>

思い出のオリエンテーリング

中日 OL 認定大会

中日東海ブロック大会は企画から渉外などかなり幅広く中日新聞社が受け持ち、参加料収入は中日新聞社のものとし、主管団体には手当などを支払う形でした。これに対し、中日 OL 認定大会は中日新聞社と東海地区オリエンテーリングクラブ連絡協議会などが主催であるものの、事務局は主管者に置いて運営するものである。と書いたものの違うものが早速見つかかり、当初はまだ、体制は固まっていない様子が見られた。第一回とかは無く、最初にファイルから見つかったのは「中日 OL 認定大会 四日市大会」。したがって、手元に残っている大会が何回目の大会かは不明であるし、回数を数える性質のものでなかったと思われる。



トレインは今の東名阪自動車道四日市 IC 南側の丘と水田、果樹園が多い、丘陵地帯。地図記号は黄色に青の横縞が水田、黄色に青ドットが果樹園、茶畑、竹林。クラスはグループが高校女子組、小中学男女組など 11 クラス、個人は青年 A、小中学生男子など 11 クラスが用意された。私の手元には要項にないエリートの地図が残っており、距離 8.1 km 上り 320m コントロール 17 となっている。縮尺 2 万分の一、等高線間隔 10m、磁北線が傾けて書いてある

のが当時らしい。尚、主管は四日市オリエンテーリングクラブであるが、四日市オリエンテーリングクラブの所在が四日市市役所 市長公室 青少年対策課内となっており、行政の支援が強かったことがうかがえる。

連続して 4 月 10 日に開催された「常滑大会」は主催：中日新聞社と愛知青少年協会（愛知 OLC の母体）で、主管は愛知 OLC。集合場所は名鉄常滑線「蒲池」駅前。ちなみに四日市大会は近鉄湯の山線「伊勢川島駅」南口。クラスは四日市大会と同じ。この大会の地図は残っていない、不参加のようだ。

さらに 5 月 22 日には OLC ルーパー主管で「岐阜大会」が開催された。関市で開催され、縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m、2 段階走行可能度入り。要項が残っていないので体制は不明である。

この間には 5 月 8 日に湖西市で第 6 回中日東海ブロック大会を開催し、中日新聞社さんは大忙し。

お知らせ

◎あいちシニアオリエンテーリング愛好会についての情報は下記 HP から

<https://www.mics.ne.jp/~ono511/senior.htm>

◎岡崎東公園パーマネントコース

開設 52 周年記念大会 5 月中下旬に予定

昭和 48 年（1973 年）10 月 21 日に東公園オリエンテーリングパーマネントコースオープン大会が開催されました。2025 年は 52 周年にあたります。やや半端ですが、区切りとする大会を開催します。

構想としては、パーマネントコースの固定ポストを活かしつつ、易しいところや難しいところにコントロールを置いて、初心者から高レベルの方まで満足いただけるスコアオリエンテーリングを予定。